

インドゾウ展示場への日よけ設置について

安藤 正人

アジアゾウの飼育については、1994 年に日本動物園水族館協会（JAZA）より発行された「アジアゾウ飼育マニュアル」に日よけの必要性が記載されている。2021 年 JAZA 公式 HP にて公開された JAZA 適正施設ガイドラインの中では、「強い日差しを避けるため屋外展示場には自然及び人工の日陰を用意しなくてはならない。日陰はすべてのゾウが利用できるように設置する。」とされている。

金沢動物園では、インドゾウの夏期の暑さ対策としてプールへの注水を行ってきた。一方で日よけは展示場に獣舎から延びる幅 2m の底しか無く、また太陽の角度によりゾウの入れる日陰が全くない時間帯もあった。近年の酷暑対策として寝室の解放を行ってきたが、寝室を解放すると来園者からゾウが見えにくいという課題を抱えていた。

そこで安価に入手できる資材を利用して、職員による設置を行った。方法としては廃棄電柱を獣舎の向かい側に立て、獣舎屋上とワイヤーで繋ぎ、布状の日よけ（2m×5m）を 2 機設置した。また強風による損壊を防ぐため、開閉可能な構造とした。

設置した日よけによって新たな日陰のゾウへの提供と、日陰による展示場温度の低下を確認できた。

今後の課題として日よけによる長期的な温度変化や、ゾウの行動の変化について評価方法などの検討を行っていきたい。